

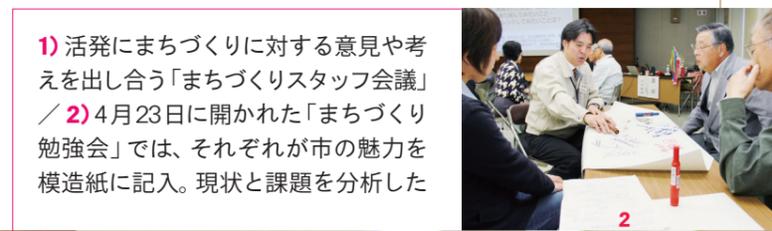
## 市民と行政「協働」で市総合計画を策定 まちづくりスタッフ会議を開催

市は、2016年度からスタートする市総合計画の策定を、総合計画審議会を中心に進めています。市総合計画は、今後10年間のまちづくりの基礎になる設計図です。

昨年度は、市が目指すまちの将来像になる基本構想を策定。本年度は、20年までの前期基本計画を定めます。市民の意見を計画に取り入れるため「まちづくりスタッフ会議」を設置。スタッフは、市民35人と職員15人で構成しています。市民が参画できることを中心に、分野ごとの施策の検討を行っています。

第2回の会議は5月9日に開かれ、5つの分野に分かれて思いや考えを出し合いました。同会議は毎月1回開かれ、7月までに意見を集約します。

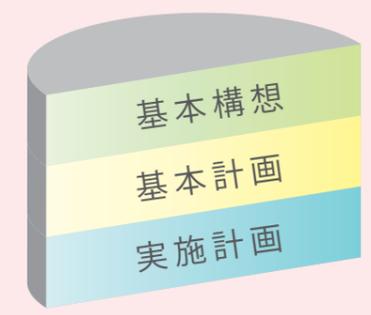
総合計画審議会では、まちづくりスタッフ会議で集約した意見を調整。さらに、複数の分野に関わる施策などをまとめて、10月に市長へ答申する予定です。



1) 活発にまちづくりに対する意見や考えを出し合う「まちづくりスタッフ会議」  
2) 4月23日に開かれた「まちづくり勉強会」では、それぞれが市の魅力を模造紙に記入。現状と課題を分析した

### 一関市総合計画とは…

総合計画は、市が目指すまちづくりの方向性を定めるもので、基本構想、基本計画、実施計画で構成されています。



- **基本構想**  
①市が目指すべきまちの将来像②それを実現するための基本理念と基本目標一を定めるもの。計画期間は2016年度から25年度までの10年間。
- **基本計画（前期5年、後期5年）**  
基本構想に基づいて、中長期的な施策の展開方法を体系的に示すもの。
- **実施計画**  
基本計画に基づいて、3年度分の具体的な事業を毎年見直すもの。市の予算編成の指針になる。

*Leader's Comments*

まちづくりスタッフ会議議長  
**菊池 紘一**  
大東町 70歳

合併から10年。一体感が増しているが、その一方で、各地域の特色を生かすまちづくりも必要だと思う。委員たちは、積極的に議論していて、雰囲気もいい。互いの意見が、参考になったり、刺激になったりしている。私たちの意見一つ一つを、石垣を積むように大事にして計画を作してほしい。



## 県境を越える連携で新たなまちづくりを

### 登米市、栗原市、一関市首長懇談会を開催

登米市、栗原市、一関市の3市長による首長懇談会は4月27日、花泉町の「花と泉の公園」で開かれました。

この懇談会は、勝部修市長が「あらゆる分野の施策やサービスは一つの自治体では完結しない。県境を越えた自治体間の連携が不可欠」として、登米市、栗原市の両市長に呼びかけて実現しました。

当日は、各市の市長・副市長など19人が参加し、それぞれの市の取り組みなどを紹介。互いの地域について理解を深めました。

布施孝尚登米市長は「栗原市、一関市とは、互いの強みを生かしながら、協調しあう関係でありたい。通勤、通学、産業などで、生活圏を共有している。これまで以上に連携した取り組みが必要」と強調。佐藤勇栗原市長は「3市は、北上川の水系で一つの体系を構成し、同じ歴史や伝統文化を持っている。医療や教育文化などでも連携し、3市一丸になって取り組みたい。諸課題を3市長が話し合うことは、意義深い」と語りました。

勝部市長は「国が求めている『地方創生』に結びつくような提案をしていければ」と、今後を展望。圏域の連携を呼びかけました。

懇談会では、国際リニアコライダー（ILC）に関する情報の共有や男女の出会いの場づくり、圏域の医療などについて意見交換が行われました。

また、同一の経済圏、文化圏と生活圏を共有していることから、県際連携をさらに強化することを確認しました。



登米市・栗原市・一関市首長懇談会  
～新たな県際連携に向けて～

#### 岩手県一関市

- 面積 1,256.42平方キロメートル
- 人口 123,445人(27年4月1日現在)
- 高齢化率 32.6%
- 概要 2005年9月20日に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村の1市4町2村が合併し、さらに11年9月に藤沢町を編入。

#### 宮城県栗原市

- 面積 804.97平方キロメートル
- 人口 72,234人(27年4月1日現在)
- 高齢化率 34.6%
- 概要 2005年4月1日に築館町、若柳町、栗駒町、高清水町、一迫町、瀬峰町、鶯沢町、金成町、志波姫町、花山村の9町1村が合併し誕生。宮城県内で最も広い面積を有し、稲作を中心とした農業が盛ん。栗駒山や伊豆沼などの観光地も有名。

#### 宮城県登米市

- 面積 536.12平方キロメートル
- 人口 83,321人(27年4月1日現在)
- 高齢化率 29.9%
- 概要 2005年4月1日に迫町、登米(とよま)町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町、津山町の9町が合併し誕生した。県内有数の穀倉地帯となっていて、ササニシキ、ひとめぼれの主産地として有名。

<p><b>岩手県一関市 勝部 修</b></p> <p>1950年東山町生まれ。亜細亜大法学部卒。74年に岩手県庁に入庁。総合雇用対策局長、総合政策室長、県南広域振興局長などを歴任。09年、一関市長に初当選。現在2期目。</p>  <p>かつべ・おさむ 64歳</p>	<p><b>宮城県登米市 布施 孝尚</b></p> <p>1961年宮城県登米市生まれ。日本大学歯学部卒。97年から登米郡歯科医師会理事。2000年から宮城県歯科医師会理事。05年登米市長に初当選。現在3期目。</p>  <p>ふせ・たかひさ 53歳</p>	<p><b>宮城県栗原市 佐藤 勇</b></p> <p>1942年兵庫県三田市生まれ。立教大学文学部卒。83年に宮城県議会議員に初当選し、5期にわたって務めた。01年から03年までは、同議会議長を歴任。05年、市長に初当選。現在3期目。</p>  <p>さとう・いさむ 72歳</p>
--	---	--